

災害時のごみの出し方

早期の復旧・復興に向け「生活ごみ」と「片付けごみ」の正しい分別を!

首都直下地震(都心南部直下地震)や大規模水害が発生すると、普段の生活から出る「生活ごみ」とは別に、被災した家屋を片付けるときに出る家財道具などの「片付けごみ」が発生します。

災害時のごみを迅速に処理するために、正しいごみの分け方・出し方にご協力をお願いします。

自宅で生活できる方

生活ごみ (普段の生活から出るごみ)
し尿 (使用済み携帯トイレ・簡易トイレなど)

ごみ集積所へ

- 燃やすごみ、燃やさないごみ、資源の分別は普段どおり行なってください。
- 災害発生時は、ごみの収集方法が通常とは異なることがありますので、区からのお知らせ(区ホームページなど)をご確認ください。

燃やすごみ(生ごみ・紙おむつなど)

- できるだけ早く収集を再開する予定です。
- 生ごみなど腐敗しやすいごみから優先的に出してください。



燃やさないごみ

資源(容器包装プラスチック・古紙・びん・かん・ペットボトル)

- 燃やすごみを優先して収集するため、通常の収集や資源回収を停止する場合があります。

⚠️ 収集が再開されるまで、ご家庭で保管をお願いします。

し尿(使用済み携帯トイレ・簡易トイレなど)

- 原則として燃やすごみの日に収集する予定です。
- 他の燃やすごみとは別の袋に入れ、袋を二重にして、中の空気をできるだけ抜いて口を強く縛って出してください。
- 焼却しやすくするため、袋内には新聞紙などの可燃物を入れてください。

⚠️ 災害時のみ収集します。



避難所へ避難された方

避難所のごみ

避難所生活で発生したごみは、避難所ごとのルールに従って出してください。



自宅で生活できる方

避難所へ避難された方

片付けごみ

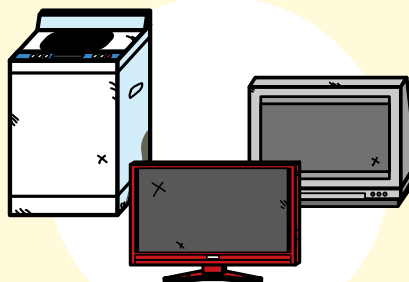
(被災家屋などから排出される大型の
家財道具〈家具、家電、布団、畳など〉)

公園など区が
指定する場所へ

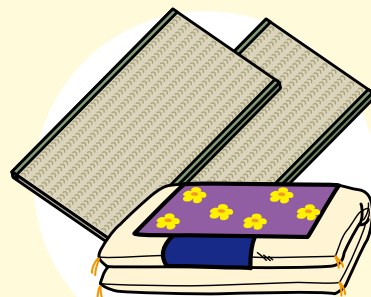
- 片付けごみを持ち込む場所(一次仮置場)は、近隣の公園などに設置します。
 - **災害の状況に応じて区が設置場所を決定し、区ホームページなどでお知らせします。**
 - 復旧活動を妨げるため、片付けごみを道路上に出さないでください。
 - 設置場所までご自身で持ち込み、ごみの種別ごとに分別してください。
- ⚠️ 「燃やすごみ」などの「生活ごみ」は、持ち込めません。



壊れた家具など



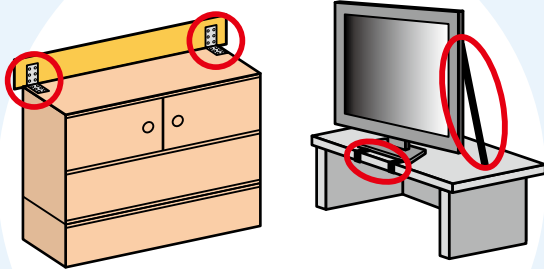
壊れた家電製品など



布団・畳

日頃の備えが大切です

家具の転倒防止策を 講じましょう



家具や家電の転倒防止策を講じることは事故の防止や災害廃棄物の発生抑制につながります。また、家屋の耐震化を行なうことも災害廃棄物を減らす事に効果的です。

日頃から不要なものを 整理しておきましょう



災害時には、大量の片付けごみが発生します。被害を減らし、少しでも災害時の負担を軽減するために、家庭内で不要となったものは、普段から溜め込まず、処分しましょう。

区からの
お知らせは
こちらから

区ホームページ



区防災アプリ
ios版



区公式LINE



区防災ポータル



区防災アプリ
Android版



区公式X
(旧ツイッター)

